

学校教育目標	○進んで学ぶ子ども(知) ○助け合う子ども(徳) ○たくましい子供(体)	【目指す学校像】	自分らしさが見つかる学校【自分の得意なことを見つけ、自分らしさを伸ばし、表現できる学校】
		【目指す児童像】	はきはきと学ぶ南白っ子【学習意欲が高い子】、わくわくと笑顔の南白っ子【正義感をもつ子】、のびのびと活躍できる南白っ子【活躍できる子】
		【目指す教師像】	身なりを整え、礼儀も覚え、子供のために、学び続ける、教師でありたい！

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	次年度へ向けて	次年度への改善策
確かな学力	端末の活用を推進し、学力の基礎基本である言語因子や数量因子を確実に身に付けさせるとともに、家庭学習について家庭に啓発し、家庭学習の習慣を定着させる。 (CSの推進・評価・小中と連携しながら)	学習の基礎となる「数量因子」と「言語因子」の定着と向上を図り、児童が習得目標を達成できるようにする。 【基礎・基本を定着させるための全校共通実践】 (通常級担任)	①国語[言語事項] 漢字など(期末に実施する言語のワーク)を活用して実施する。 ②東京ベーシックドリルを実施する。算数の「知識・技能」を身に付ける	4 継続的に計画を80%実施した	4.0	4 定着率が平均75点以上だった	3.5	言語(漢字)に関する定着も高い。文章の中で使える、様々な場面を捉え、「生きて働く知識・技能」として指導をしていく。さらに定着率をあげていく。	
				3 70%以上程度計画通り実施した		3 定着率が平均65点以上だった			
				2 60%以上程度計画通り実施した		2 定着率が平均50点以上だった			
				1 計画的にできなかった		1 定着率が平均50点未満だった			
				4 継続的に計画を80%実施した	3.8	4 定着率が平均65点以上だった	3.8	東京ベーシックドリルは活用が進み、算数の基礎的・基本的な理解は確実に成果があげている。継続して取り組んでいく。	
3 70%以上程度計画通り実施した	3 定着率が平均55点以上だった								
2 60%以上程度計画通り実施した	2 定着率が平均45点以上だった								
1 計画的にできなかった	1 定着率が平均45点未満だった								
4 家庭学習をほぼ毎日出して取り組ませた	3.9	4 目安時間の家庭学習が身に付いた児童が80%以上いた	3.7	家庭学習が計画的に実施できるようにした。反復の学習に取り組めるようになってきている。個々により差があるため、休み時間等を活用し、指導・支援をする必要がある。専科等もその教科にあった家庭学習を考えていく。					
3 家庭学習を80%以上程度ほぼ取り組ませた		3 目安時間の家庭学習が身に付いた児童が70%以上いた							
2 家庭学習を60%以上程度計画通り実施した		2 目安時間の家庭学習が身に付いた児童が60%以上いた							
1 家庭学習が計画的にできなかった		1 目安時間の家庭学習が身に付いた児童が60%以下いた							
4 計画を90%実施した	3.1	4 授業が分かる児童が80%以上だった	3.4	端末を活用して、児童のスキルは向上している。学習の理解にもつながっている。少しずつ、1学期(中間)より、数値があがってきているが、来年度は基準を明確にして、客観的に評価ができるようにしていく。					
3 80%以上程度計画通り実施した		3 授業が分かる児童が70%以上だった							
2 60%以上程度計画通り実施した		2 授業が分かる児童が60%以上だった							
1 60%未満で計画通り実施した		1 授業が分かる児童が60%未満だった							
4 計画を90%実施した	3.4	4 目標を達成した児童が80%以上だった	3.6	個別指導計画は共有し、目標を達成できるように取り組むことができた。概ね達成はできているが、日常的に通常級の中での支援方法を取り組めるように、ひばり教室と具体的な策を考えていく。					
3 80%以上程度計画通り実施した		3 目標を達成した児童が70%以上だった							
2 60%以上程度計画通り実施した		2 目標を達成した児童が60%以上だった							
1 60%未満で計画通り実施した		1 目標を達成した児童が60%未満だった							
4 体験活動の計画を90%実施した	3.4	4 協働して活動する児童が80%以上になった	3.6	感染予防を講じ、体験を通し、共に認め合うことができた。効率的に行うためには、行事等を見直し、子供が集中して取り組むようにしていく。ただし、コロナ禍で機会が減っており、計画的な実施が難しかった。					
3 80%以上程度計画通り実施した		3 協働して活動する児童が70%以上になった							
2 60%以上程度計画通り実施した		2 協働して活動する児童が60%以上になった							
1 60%未満で計画通り実施した		1 協働して活動する児童が60%未満だった							
4 学習規律や教室環境を90%徹底・整備した	3.6	4 学習規律が身に付いた児童が80%以上だった	3.3	定着については個人や学級の差がある。配慮を要する児童への授業規律を整えていく必要がある。個別的なルールを考え、トラブルを回避する方法等を共有していく必要がある。					
3 80%以上の実施した		3 学習規律が身に付いた児童が70%以上だった							
2 70%以上程度計画通り実施した		2 学習規律が身に付いた児童が60%以上だった							
1 70%未満で計画通り実施した		1 学習規律が身に付いた児童が60%未満だった							
4 共有し、組織的に対応することができた	3.6	4 配慮を要する児童に対応することができた	3.5	毎日のように、相談をしながら突発的な問題行動にも組織的に対応ができた。一人で抱え込まない教師の姿勢が浸透している。個別や小集団活動では、成果が見られたが、学級全体の活動では指導が難しい児童がいるため、支援員の効果的な配置等を考えていく。					
3 共有し、組織的にほぼ対応することができた		3 配慮を要する児童にほぼ対応することができた							
2 共有し、組織的にあまり対応することができた		2 配慮を要する児童にあまり対応することができた							
1 組織的に対応することができなかった		1 配慮を要する児童に対応することができなかった							
4 計画を90%実施した	3.3	4 児童の80%以上が取り組めた	3.4	1学期より、数値は向上し体力向上に取り組むことができた。進んで外遊びする児童が減っており、体を動かす楽しさを味わわせる必要がある。					
3 80%以上程度計画通り実施した		3 児童の70%以上が取り組めた							
2 70%以上程度計画通り実施した		2 児童の60%以上が取り組めた							
1 70%未満で計画通り実施した		1 児童の60%未満が取り組めた							
4 継続的に計画を90%実施した	3.4	4 児童の80%以上が実践に取り組めた	3.1	毎日の生活保健指導を通して、コロナの予防を自らする児童が増えた。生活習慣については、家庭の協力を得られるように働きかけが必要である。					
3 80%以上程度計画通り実施した		3 児童の70%以上が実践に取り組めた							
2 70%以上程度計画通り実施した		2 児童の60%以上が実践に取り組めた							
1 70%未満で計画通り実施した		1 児童の60%未満が実践に取り組めた							
4 継続的に計画を90%実施した	2.2	4 30時間は越えなかった	2.1	課題が残った項目である。放課後に余裕をもった職務ができるように教育課程の編成を工夫していく。必要のない会議は縮小していくようにする。時間外の会議は避ける。					
3 80%以上程度計画通り実施した		3 40時間は越えなかった							
2 70%以上程度計画通り実施した		2 50時間は越えなかった							
1 70%未満で計画通り実施した		1 50時間以上が勤務時間外だった							